2018 年 4 月 24 日
株式会社ディー・エヌ・エー
ヤマト運輸株式会社

「ロボネコヤマト」4 月 24 日に神奈川県藤沢市内で自動運転車による配送の実証実験を実施

株式会社ディー・エヌ・エー(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO:守安 功、以下 DeNA）とヤマト運輸株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:長尾 裕、以下ヤマト運輸)は、神奈川県藤沢市内の一部地域において、2017 年 4 月から約 1 年間実施した自動運転社会を見据えた次世代物流サービスの実現を目指すプロジェクト「ロボネコヤマト」の一環として、2018 年 4 月 24 日(火)に自動運転車両を用いた配送の実証実験を実施しました。

封鎖した辻堂海浜公園東駐車場内をドライバーレスで自動運転走行した様子

これまで実用実験を行ってきた「ロボネコヤマト」は、専任のドライバーによる有人運転を行っておりましたが、ドライバーは荷物の発送・受け取りに関与せず、利用者自身が荷物を車両から取り出すサービス設計で運用してきました。

今回、車両の走行を実際に自動運転化した際の改善点の洗い出しを目的として、アイサンテクノロジー株式会社の協力のもと、同社の自動運転車両を用いた実証実験を実施する運びとなりました。

約 6km の藤沢市内公道においてドライバーが着座した状態での自動運転走行のほか、Fujisawa SST 協議会(※)の協力のもとで、封鎖した公道上をドライバーレスの自動運転で走行しました。

さらに、自動運転車両を用いた実証実験の一部において日本信号株式会社協力のもと、携帯電話網を用いて信号情報を自動運転車両へ送信する、日本初の技術実証も実施しました。

■ロボネコヤマト自動運転走行実験

【概要詳細】

■実施日:4 月 24 日(火)
■実施場所:神奈川県藤沢市内
■走行距離:約 6km
■実験の流れ
①「ロボネコヤマト」車両に宅急便荷物を預入
②ドライバーレス(封鎖環境内)での自動運転車両による①の荷物の受け取り
③信号情報を受信し自動運転走行
④「ロボネコストア」地域商店 1 店舗目の商品集荷
⑤「ロボネコストア」地域商店 2 店舗目の商品集荷
⑥ドライバーレス(封鎖環境内)での自動運転車両による④⑤の商品の受け取り
※①③④⑤は、運転席にドライバーが着座した状態での自動運転（ハンズフリー）
※②⑥は、運転席にドライバーが着座しない状態での自動運転（助手席にスタッフが着座）

■「ロボネコヤマト」とは

「ロボネコヤマト」は、車内に保管ボックスを設置した専用 EV 車両を使用し、AI による配送ルートの最適化を行うことで、お届けの時間帯を 10 分刻みで指定できる次世代物流サービスです。宅急便の荷物を望む時間帯に望む場所で受け取ることができるオンデマンド配送サービス「ロボネコデリバリー」と、地元商店の商品を事前にインターネット上で一括購入し、運んでもらうことができる買物代行サービス「ロボネコストア」の 2 つのサービスを、対象エリアにお住まいのお客様に提供しています。なお、「ロボネコヤマト」は、神奈川県、藤沢市、DeNA およびヤマト運輸で締結した協定に基づき実施しております。

★ロボネコヤマトの報道用資料は、特設ページ（https://www.roboneko-yamato.com/）最下部よりダウンロード可能です。併せてご参照ください。

■Fujisawa SST 協議会について

神奈川県藤沢市のパナソニックの工場跡地にて、Fujisawa サスティナブル・スマートタウンの開発をすすめる 18 団体からなる街づくり協議会（代表幹事：パナソニック株式会社）です。藤沢市と官民一体で、エコで快適、安心・安全なスマートライフがおくれる「くらし起点」の街をめざし、開発をすすめています。

▼Fujisawa サスティナブル・スマートタウン（Fujisawa SST）

公式サイト http://fujisawasst.com

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ディー・エヌ・エー 広報部　張

TEL:03-4366-7205　E-mail: pr@dena.jp

ヤマト運輸株式会社　広報戦略部　飯田

TEL:03-3541-3411　E-mail: ytc-media@kuronekoyamato.co.jp